

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 複雑系解析、深層学習を用いた心房細動の電気生理学的機序の解明
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科（研究責任者）永嶋 孝一
＜研究期間＞ 承認日 ～ 西暦 2020年 3月 31日
＜研究の目的と意義＞ 現在、心房細動を持っている患者さんは100万人を超えていると言われています。カテーテルアブレーション治療（肺静脈隔離術）が、心房細動の治療の第一選択として確立されています。しかしながら、肺静脈隔離だけでは根治できない患者さんも多く、根治のためには左心房にしばしば追加アブレーションが必要になります。しかし、心房細動を誘発する機序、持続する機序は、電気生理学的にも全く分かっていません。心房細動中に心房は一見無秩序に興奮をしています。そこで私たちは、カオス理論を用いた複雑系解析や深層学習（ディープラーニング）を用いた解析を行い、心房細動の機序を解明しようと考えています。そして心房細動の機序の解明により、本当の意味での根治を目指しています。
＜利用する試料・情報の項目＞ カテーテルアブレーションを受けた患者さんの、心房細動中の心房内での電気興奮を各部位で記録し、興奮の機序を解析します。
＜対象となる患者さん＞ 2018年4月1日～2020年3月31日に当院循環器内科で心房細動に対するカテーテルアブレーション治療をされた方
＜研究の方法＞ 上記患者さんのカテーテルアブレーション中に、心房内の各所の電気興奮を記録します。この手技はボルテージマップと呼ばれ、治療に必要であり、どの患者さんにも行っています。後日、この記録された電位波形から0.0005秒ごとの電位を全て数値化し、この電位の変化を、複雑系解析および深層学習を行います。これにより、一見無秩序に見える心房内の電気興奮の秩序を見出し、心房細動を引き起こしている起源を同定し、そこへのアブレーションを追加することで根治することを目標とします。
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町30-1） 循環器内科 氏名：永嶋 孝一 電話：03-3972-8111 内線：(医局)2413 (PHS)8142